

(仮称) 岐阜市未来ビジョン 第2回有識者会議 次第

日時 平成29年8月22日(火) 15:00～

場所 岐阜市役所本庁舎低層部4階全員協議会室

会議テーマ「未来の、日本の地方都市のあるべき姿と立ち位置
～活力づくりはどうあるべきか」

- 1 開会
- 2 浅井副市長あいさつ
- 3 有識者発言・意見交換

【観光】

- 波瀾 郁代氏 (株式会社 JTB 総合研究所 執行役員企画調査部長)
「共感や誇りを生む岐阜の新しい観光魅力づくりとは」

【産業】

- 内田 俊宏氏 (中京大学経済学部 客員教授)
「地域活性化のタイムリミットとリニア時代の生き残り戦略」
- 深尾 光洋氏 (慶應義塾大学商学部 名誉教授、武蔵野大学経済学部 教授、
株式会社十六総合研究所 顧問)
「人口、技術の将来像から考えるまちづくり」
- 青野 史寛氏 (ソフトバンク株式会社 常務執行役員)
※代理出席：池田 昌人氏 (同社 人事総務統括 CSR統括部 統括部長)
「30年先を見据えた、「ソフトバンク流」組織のあり方について」
- 井上 智洋氏 (駒澤大学経済学部 准教授)
「人工知能は未来の経済をどう変えるか？」
- 橋本 和仁氏 (国立研究開発法人物質・材料研究機構 理事長)
「Society 5.0の実現 地域活性化に向けた科学技術のあり方」

- 4 今岡副市長あいさつ
- 5 閉会

《配付資料一覧》

- ・次第
- ・有識者名簿
- ・有識者プロフィール等一覧
- ・席次表
- ・有識者発言配付資料
(事前送付資料)
- ・第2回有識者会議(活力づくり8月22日)の概要
- ・時代に対する基本的認識(共通資料)
- ・未来の行政課題及びポイント①(産業分野)
- ・未来の行政課題及びポイント②(観光分野)
- ・第2回有識者会議(8月22日)資料に関連する基礎データ集

(仮称)岐阜市未来ビジョン 第2回有識者会議

日時 平成29年8月22日(火) 15:00～

場所 岐阜市役所本庁舎低層部4階全員協議会室

会議テーマ「未来の、日本の地方都市のあるべき姿と立ち位置
～活力づくりはどうあるべきか」

有識者名簿

(順不同・敬称略)

氏名	役職等
波瀆 郁代	株式会社JTB総合研究所 執行役員企画調査部長
内田 俊宏	中京大学経済学部 客員教授
深尾 光洋	慶應義塾大学商学部 名誉教授 武蔵野大学経済学部 教授 株式会社十六総合研究所 顧問
青野 史寛(欠席)	ソフトバンク株式会社 常務執行役員
池田 昌人(代理出席)	ソフトバンク株式会社 人事総務統括 CSR統括部 統括部長
井上 智洋	駒澤大学経済学部 准教授
橋本 和仁	国立研究開発法人物質・材料研究機構 理事長

<進行役>

紙田 和代 (ランドブレイン株式会社 執行役員)

※ (仮称) 岐阜市未来ビジョン策定支援業務受託業者

<岐阜市 出席者>

浅井副市長、今岡副市長

関係部長 (市長公室、商工観光部、農林部、健康部、都市建設部)

関係課長 (広報広聴課、交通総合政策課、商工観光政策課、産業雇用課、
観光コンベンション課、企業誘致課、農林政策課、農林園芸課、
農業委員会事務局、健康政策課、健康増進課、自然共生政策課、
都市建設政策課、歴史まちづくり課、市民参画政策課、
男女共生・生きがい推進課、市民活動交流センター、庶務会計課、
総務管理課、教育政策課、社会教育課)

事務局 (企画部長、企画部次長、総合政策課管理監、総合政策課職員)

(仮称) 岐阜市未来ビジョン 第2回有識者会議

日時 平成29年8月22日(火) 15:00～

場所 岐阜市役所本庁舎低層部4階 全員協議会室

会議テーマ「未来の、日本の地方都市のあるべき姿と立ち位置
～活力づくりはどうあるべきか」

有識者 プロフィール等一覧

※発言順に記載

※発言テーマは、当日変更する場合がありますので、
あらかじめ御容赦願います。

【波瀧 郁代 (なみがた いくよ) 氏】 株式会社JT B 総合研究所 執行役員企画調査部長

〔発言テーマ〕 共感や誇りを生む岐阜の新しい観光魅力づくりとは



<プロフィール>

新潟生まれ。(株)日本交通公社(現 JT B)入社、本社人事、販売促進を担当後、成城支店長、赤坂支店長を経て2008年グループ本社広報室長。2012年JT B 創立100周年を機に設立された(株)JT B 総合研究所企画調査部長。2015年同社執行役員・企画調査部長(マーケティング、コミュニケーション戦略担当)。長野県観光振興審議会委員などの委員を務める。

【内田 俊宏 (うちだ としひろ) 氏】 中京大学経済学部 客員教授

〔発言テーマ〕 地域活性化のタイムリミットとリニア時代の生き残り戦略



<プロフィール>

1968年青森県生まれ。91年一橋大学経済学部卒業。野村證券を経て東海総合研究所入社。2002年名古屋大学大学院経済学研究科博士前期課程修了。三菱UFJリサーチ&コンサルティングエコノミストなどを経て、2015年中京大学経済学部客員教授、十六総合研究所アドバイザー。専門はマクロ経済、地域経済。公職として、国土交通省中部地方整備局、愛知県、青森県、名古屋港管理組合などの委員・座長を務める。NHK名古屋、CBCラジオ、東海ラジオの経済コメンテーターなど中京圏のメディアへの出演多数。著書に『東海エリアデータブック』(中日新聞社)、『経済金融トレンドに強くなる』(きんざい)など。

**【深尾 光洋（ふかお みつひろ）氏】 慶應義塾大学商学部 名誉教授
武蔵野大学経済学部 教授
株式会社十六総合研究所 顧問**

〔発言テーマ〕人口、技術の将来像から考えるまちづくり



<プロフィール>

1951年岐阜市生まれ。1970年岐阜高校卒業。1974年京都大学工学部卒業。日本銀行入行、ミシガン大学経済学部博士課程・同大 Ph.D.取得、OECD 経済局 通貨金融課シニア・エコノミスト、日本銀行調査統計局参事などを経て 1997 年慶應義塾大学商学部教授。日本経済研究センター理事長、経済産業研究所ファティカルフェローを歴任。2013年十六総合研究所顧問、2016年経済産業研究所シニアリサーチアドバイザー、2017年武蔵野大学経済学部教授。専門は国際金融論、コーポレート・ガバナンス。『財政破綻は回避できるか』（日本経済新聞出版社 2012年）、『国際金融論講義』（日本経済新聞出版社 2010年）など著書多数。

【青野 史寛（あおの ふみひろ）氏】 ソフトバンク株式会社 常務執行役員

〔発言テーマ〕30年先を見据えた、「ソフトバンク流」組織のあり方について



<プロフィール>

1962年東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。(株)リクルート入社、人事部人事課課長、(株)人事測定研究所(現(株)リクルートマネジメントソリューションズ)RDビジネスユニット長兼営業部門長を経て 2005年ソフトバンク(株)(現ソフトバンクグループ(株))人事部長。

2007年ソフトバンクモバイル株式会社(現ソフトバンク(株))常務執行役員 人事総務統括、2012年ソフトバンク株式会社(現ソフトバンクグループ(株))執行役員 人事部長を経て、2017年ソフトバンク株式会社 常務執行役員 兼 CCO、ソフトバンクグループ株式会社 常務執行役員 管理統括。

【井上 智洋（いのうえ ともひろ）氏】 駒澤大学経済学部 准教授

〔発言テーマ〕人工知能は未来の経済をどう変えるか？



<プロフィール>

1975年東京生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業。早稲田大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。早稲田大学政治経済学部助教、駒澤大学経済学部講師を経て 2017年駒澤大学経済学部准教授。専門はマクロ経済学、貨幣経済理論、成長理論。慶應義塾大学SFC研究所上席研究員、総務省AIネットワーク化検討会議構成員、AI社会論研究会共同発起人。『人工知能と経済の未来 2030年雇用大崩壊』（文芸春秋 2016年）、『ヘリコプターマネー』（日本経済新聞出版社 2016年）、『人工超知能』（秀和システム 2017年）など著書多数。

【橋本 和仁（はしもと かずひと）氏】 国立研究開発法人物質・材料研究機構 理事長

〔発言テーマ〕 Society 5.0 の実現 地域活性化に向けた科学技術のあり方



<プロフィール>

1955年北海道生まれ。東京大学大学院理学系研究科化学専攻修士課程修了。分子科学研究所文部技官、東京大学先端科学技術研究センター所長、同大学大学院工学系研究科教授などを経て2016年国立研究開発法人物質・材料研究機構（NIMS）理事長に就任。理学博士、日本学術会議会員、総合科学技術・イノベーション会議議員、東京大学総長特別参与・教授、沖縄大学院大学理事等兼任。エネルギー、環境化学分野の研究で2004年内閣総理大臣賞、2006年恩賜発明賞、2012年日本化学会賞などを受賞。『光触媒のしくみ』（共著、日本実業出版社、2000年）、『材料概論』（共著、岩波書店、2005年）など著書多数。

代理出席

【池田 昌人（いけだ まさと）氏】 ソフトバンク株式会社

人事総務統括 CSR 統括部 統括部長

〔発言テーマ〕 30 年先を見据えた、「ソフトバンク流」組織のあり方について



<プロフィール>

1974 年神奈川県生まれ。法政大学経営学部卒。1997 年東京デジタルホン（現ソフトバンク）入社。営業部門、マーケティング部門を経て、東日本大震災を機に、企業ができる継続的な社会貢献事業を推進しようと、CSR 部門に異動。

2011 年 7 月より公益財団法人東日本大震災復興支援財団局長を兼務。

現在、ソフトバンクグループの CSR 責任者として、事業を通じた社会課題の解決をめざし、ロボットや ICT、プラットフォームを活用した社会貢献施策を展開。